

住民税未徴収時の確認ポイント & 対応 チェックリスト

1.最優先の安全確認

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	自宅に「個人住民税の納税通知書」または「納付書」が届いているか確認した - 補足：届いている場合、本人が納付する方式（普通徴収）の可能性が高い
<input type="checkbox"/>	納付書がある場合、納期限が過ぎていないことを確認した - 補足：納期限超過は延滞金が発生し得るため、最初に確認する
<input type="checkbox"/>	既に納付済みの期がないか、領収書や決済履歴で確認した - 補足：二重納付を避けるため、納付前に必ず確認する

2.現状の事実確認

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	直近3か月分の給与明細で「住民税」の控除欄が継続して空欄であることを確認した - 補足：1か月だけ控除されない例もあるため、複数月で確認する
<input type="checkbox"/>	対象年度が「6月開始から翌年5月まで」の年12回控除の期間に該当するか確認した - 補足：特別徴収は6月から翌年5月まで月割で行われる

3.原因の切り分け

退職と退職予定の可能性

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	退職日が確定している、または退職予定であるか確認した
<input type="checkbox"/>	残額が「最後の給与で一括徴収」か「本人納付（普通徴収）へ切替」か勤務先に確認した - 補足：退職に伴う切替手続きが発生するため、方式の確定が必要である

転職と空白期間の可能性

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	前職退職日と現職入社日の間に空白期間があるか確認した
<input type="checkbox"/>	空白期間に該当する月の住民税が本人納付（普通徴収）になっていないか、納税通知書で確認した - 補足：特別徴収への切替が間に合わない月は本人納付になることがある

3.原因の切り分け

給与が少額または不定期の可能性

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	毎月給与が支給されない、または支給が不定期であるか確認した - 補足：給与支払いが毎月でない場合、普通徴収が認められる例として自治体が表示
<input type="checkbox"/>	年間給与収入が住民税非課税レベルの年収に該当するか確認した - 補足：給与が少なく特別徴収しきれない場合として、自治体が例示する

既に別の勤務先で特別徴収されている可能性

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	本業以外の勤務先があり、別勤務先で住民税が天引きされていないか確認した - 補足：他事業所で特別徴収されている場合、例外扱いとして自治体が表示

3.原因の切り分け

| そもそも課税がない可能性

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	社会人1年目など、前年所得がほぼない状態に該当するか確認した - 補足：住民税は前年所得を基に算定されるため、初年度は課税がない場合がある
<input type="checkbox"/>	自治体が表示する非課税要件に該当する可能性があるか確認した - 補足：非課税判定は自治体ごとに要件が異なるため、居住自治体の案内で判断する

4.本人納付が必要な場合の対応

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	普通徴収の納期限が「6月、8月、10月、翌年1月の各末日」を基準に管理できている - 補足：末日が閉庁日の場合は翌開庁日が期限となる
<input type="checkbox"/>	分割納付か一括納付かを決め、納付計画を立てた - 補足：方式により資金繰りと納付管理負荷が変わる
<input type="checkbox"/>	納付後に領収書や決済履歴を年度別に保管した

5.給与天引きを再開したい場合の対応

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	勤務先に「特別徴収へ切り替えたい」旨を伝え、開始月の見込みを確認した - 補足：切替が完了するまでの期間は普通徴収が続くことがある
<input type="checkbox"/>	転職前後の場合、勤務先を通じて必要書類の手続きができるか確認した - 補足：転職前の勤務先で切替申請書の扱いが発生することがある、普通徴収の納期限が過ぎている場合は切替不可

6.金額内訳の確認

チェック	注意事項
<input data-bbox="160 311 202 350" type="checkbox"/>	納税通知書で「所得割」と「均等割」の内訳を確認した

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	納税通知書の有無と納期限の確認を最優先とするべきである
<input type="checkbox"/>	退職と転職は、住民税が給与天引きから本人納付へ切り替わりやすい局面である
<input type="checkbox"/>	住民税の給与天引き（特別徴収）の例外扱い条件は自治体が明示しているため、勤務先の説明だけで完結させない方がよい
<input type="checkbox"/>	二重納付は還付手続きが必要になり、負担が増えるため、納付前に履歴確認が必須である

※2026年3月時点の情報をもとに作成しています